

公表：平成31年2月25日

事業所名 児童発達支援 和こう

		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	63.2%	26.3%	10.5%	<ul style="list-style-type: none"> 小さい小部屋が数多くあると良い。間仕切りを使用したり、段ボールで囲うなど工夫をしている。 利用児とスタッフが保育室に入ると圧迫感を感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	73.7%	15.8%	10.5%	<ul style="list-style-type: none"> 少ないと思う時もある。 時間帯によっては足りない時もあるのではないかとと思う。 実際にはマンツーマンで対応する児が多いため、足りないことがある。 法的には適切かもしれないがマンツーマン対応の児が多いため、実際には手が足りていないと思う。 活動内容によって、他部署からの応援を依頼している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	73.7%	15.8%	10.5%	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、個々でお知らせカード等を用意し構造化を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	73.7%	15.8%	10.5%	<ul style="list-style-type: none"> 保育室によっては、トイレに向かうのにホールに出なくてはならないので、児が遊び出してしまうことがある。 外に大きい遊具があると良いと思う。物足りない児もいると思う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	57.9%	21.1%	21.1%	
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	52.6%	26.3%	21.1%	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より実施。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	31.6%	42.1%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より実施。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	36.8%	36.8%	26.3%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	57.9%	21.1%	21.1%	<ul style="list-style-type: none"> 研修機会はあるが少なく感じる。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	84.2%	0.0%	15.8%	<ul style="list-style-type: none"> • 気をつけてはいるが、主観的になりがちである。 • アセスメントの方法については改善が必要。 • 個別支援計画については、スタッフ間で話し合う機会を設けている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	36.8%	36.8%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • アセスメントツールを使用できていない。使用していきたい。 • 特定の児ではあるが、活用が少ない気がする。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	73.7%	0.0%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 上司に報告・相談しているところをよく見かける。情報共有し分析・審査しているので、設定されていると思う。 • 各項目については検討が必要。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75.0%	0.0%	25.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 支援についてリハビリテーションとの連携を含め、1ヵ月単位など短いスパンで振り返り、確認する必要がある。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	72.2%	0.0%	27.8%	<ul style="list-style-type: none"> • 活動プログラムを担当の週までにチームで話し合って内容を立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	73.7%	0.0%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 毎週小集団活動の担当の組み合わせをシャッフルしているので、マンネリ化を防いでいると思う。 • 過去の活動を振り返られるよう、記録をすぐに見られるような環境としている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	73.7%	0.0%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 児の個々の療育方法について情報の共有が欲しいことがある。 • 不十分な面もあるため意識して計画する必要がある。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	73.7%	0.0%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 打ち合わせが不十分であると、児への対応に戸惑うことがある。 • 打ち合わせ、準備などしっかり行えるよう必要に応じて、送迎バスを交代し担当者が準備をする機会を設けている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	68.4%	5.3%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 検討ノートなどその場にはいない職員も確認できるようにしている。 • 終了後、すぐに時間を設けることは難しいが、利用児の降園後や、スタッフの休憩時に話をする機会を設けている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	68.4%	5.3%	26.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 検証する機会を増やすことが必要。
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	47.4%	26.3%	26.3%		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	78.7%	0.0%	26.3%		
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	62.2%	10.5%	26.3%		
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	63.2%	10.5%	21.1%		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアは必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	68.4%	15.8%	15.8%	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	68.4%	5.3%	26.3%	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	68.4%	0.0%	31.6%	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	31.6%	36.8%	31.6%	・職員によって差があると感じる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	26.3%	42.1%	31.6%	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	31.6%	42.1%	31.6%	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	79.0%	0.0%	21.1%	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	26.3%	42.1%	31.6%	・保護者同士で支援し合っている状況で、職員からの支援はできていない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	73.7%	0.0%	26.3%	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	63.2%	5.3%	31.6%	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	68.4%	5.3%	26.3%	・連絡帳や電話による相談を受けた時は、即応できるよう心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	68.4%	5.3%	26.3%	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	73.7%	0.0%	26.3%	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	79.0%	0.0%	21.1%	・毎月、園だよりや、その都度お知らせを配布して情報提供している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	84.2%	0.0%	15.8%	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	84.2%	0.0%	15.8%	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	68.4%	10.5%	21.1%	・夏祭りなど、招待している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	47.4%	26.3%	26.3%	・マニュアルがあるのか知らない。 ・避難訓練は実施しているが、いつも同じ場所への避難となっている。異なる災害の場合、どこに何を持って行けば良いのかわからない。 ・非常時のマニュアル作成、訓練はできていない。周知できていない。 ・訓練を行えていない。細かなマニュアルがない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	84.2%	0.0%	15.8%	・実際、火事になった時、どのような動きをしていいのかなと感じる。 ・行ってはいるが適切な避難先まで行っての訓練ではない。実際の災害の時は怖い。 ・災害別に、児の誘導の仕方や持ち出し物の確認が必要。 ・火災以外の訓練があまり行えていないので、訓練の実施の他、その後の対応等についてマニュアルの確認が必要。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	84.2%	0.0%	15.8%	・医療的ケアが必要のある児は必ず確認を行っている。 ・看護師と共に初回面談時確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	89.5%	5.3%	5.3%	・していると思うが、書面を見たことがない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	73.7%	21.1%	5.3%	・事例について誰でも共有できるように報告書を見える所に置いて欲しい。 ・事例集は作られていない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	94.7%	0.0%	5.3%	・研修の機会はあるが、日頃から意識できる機会は必要。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	84.2%	0.0%	15.8%	

アンケート配布人数 19人 回収人数 19人 回収率100%

《 ご意見を踏まえた今後の対応や改善への取り組み 》

①療育内容の充実を図ります

- 地域の保育所やこども園、施設等との交流行事を企画し、いろいろな人と関れるよう積極的に取り組んでいきます。
- リハビリテーション課との連携を強化し、個別及び集団療育のプログラムに反映させていきます。

②当事業所職員の質の向上を目指します

- ペアレントトレーニング等、各種研修会への参加や事業所内での伝達研修を充実していきます。
- 児童発達支援ガイドライン（厚生労働省）を職員間で読み合わせし、再度認識を高めていきます。
- アセスメントツールの見直しを行い、一人ひとりのニーズや発達段階に応じた適切な支援方法を、職員全員で検討していきます。

③当事業所で避難訓練を実施していきます

- 毎月のセンター全体の避難訓練に加えて、各種災害等を想定した避難訓練を事業所単位で実施していきます。
- 現在ある避難マニュアルを確認し、必要に応じてマニュアルの見直しを行います。